

辻泰弘 国会ニュース

つじやすひろ Kokkai News 2002年5月31日 NO. 14

本会議初登壇！小泉総理に初質問！！ 生活への温かみと政策判断の欠如を追及！！



皆さん、一週間が経ちましたが、いかがお過ごしでしょうか。

私、辻泰弘は、まだ完調とはいえませんが、大分元気を取り戻し、いつもの「元気印」の辻クンに復帰しつつあります。ご安心下さい。

前号で、「来週」と予告しておりました厚生労働委員会での質問は、国会の状況で延期され、またまた「来週」となりました。6月4日の午後4時15分から45分間。参議院から先に審議される、いわゆる参議院先議の『薬事法』および『採血及び供血あっせん業取締法』の改正案」に対する質問を行います。

それに向けて、先週から「薬」について猛勉強中です。お医者さんの医療が「薬づけ」だというのはよく聞く話ですが、私の場合は、生活自体が「薬づけ」になっています。

同質疑については、次々号でお伝えする予定です。乞うご期待！

さて、待ちに待った辻泰弘の本会議初登壇は5月8日、全参議院議員注視の中で(?)行われました。衆議院では有事法制の特別委員会があり、その合間を縫って、11時から開会された参議院本会議。初登壇ながら、さっそうと登場した辻泰弘は、ヒツジ年生まれとは思えないような激しさと迫力で、ライオンヘアーの一匹オオカミ・小泉総理に対して、「庶民の幸せを大きく」との熱い思いを込め、果敢に華麗なる闘いを挑みました。

終わってから数日後、ある先輩議員から、「この間の質問は良かった。何でもいいんだよ。とにかく皆の印象に残ればいいんだよ！」と言われましたが、それが本質をズバリ表しているかもしれません。(内容もとってもいいんですよ！ 念のため・・・)

3月末に、「4月初めにあるかもしれないから用意しておくように」と言われて以来1ヶ月以上、平成12年度決算のことばかり追いかけて通してました。新聞を見ても、テレビを見ても、全てが12年度に関わりがないかと、そのことばかり気になる日々でした。

ともあれ、本会議での総理に対する初質問を終え、これでまた一つ「本当の国会議員」に近づけたような気がしています。

以下、5月8日の参議院本会議における「平成12年度決算」に関する、小泉総理、塩川財務大臣、竹中経済財政政策担当大臣、遠山文部科学大臣、福田官房長官に対する質疑の概要を、ご報告申し上げます。(決算は重要案件のため総理が出席・答弁)

◆経済活性化、雇用創出の具体策を！

辻 泰弘 4月24日の経済財政諮問会議で、総理は、「6月サミットでは、着実に進んでいることを私は言う」と述べたが、何が着実に進んでいるのか。

構造改革が景気回復をもたらすプロセスを自らの言葉で語って欲しい。

6月末のサミットまでに、どのような経済活性化策を、いかなる政策決定プロセスを経て講じていくのか。

雇用創出のためにはどう対処するのか。

小泉 総理大臣

郵政事業への民間参入、道路公団の民営化、住宅金融公庫の廃止など、改革は、着実に進んでいる。

構造改革の推進は、経済の先行きに対する国民の信頼、期待の確立、規制改革などによる民間の活力の増大などを通じ、消費、投資の回復や雇用創出につながる。中期的な景気回復を実現したい。

◆税制改革に総理の決断を！

辻 泰弘 経済活性化のためには、活力の理念が必要。税制改革の理念・方針・実施時期を伺いたい。

小泉 総理大臣

税制のあり方は、経済再生の確固たる基盤を築くかぎとなる。経済活性化をどのように支え、経済社会の構造改革にどう対応するのかなど検討を進め、6月を目途に基本方針を示す。

当面の課題を年内に取りまとめ、平成15年度以降実現していく。

辻 泰弘 経済財政諮問会議と政府税調の権限と決定対象領域、減税方針を伺いたい。

塩川 財務大臣

経済財政諮問会議では、経済・財政・税制などの基本的な問題を議論する。

政府税調は、同会議の趣旨を受けて、所得税、法人税、消費税など、各税目の改革に移す。

竹中 経済財政担当大臣 あるべき税制の改革に向け、諮問会議と政府税調は、連携しつつも、重複を恐れず議論を進める。

経済活性化を重視。6月を目途に基本方針を取りまとめる。

◆財政運営の基本方針を示せ！

辻 泰弘 「30兆円枠の変更は、小泉政権の崩壊につながる」とまで言った財政運営の方針変更について説明せよ。

塩川 財務大臣 予算の効率化、行政コストの見直しの考え方がある程度徹底してきた。引き続き、財政規模維持の観点から、歳出分野の諸改革、重点分野の明確化を進め、6月中旬に15年度予算の新しい組み方をまとめる方針だ。

◆インフレターゲットの妥当性は

辻 泰弘 日銀は、消費者物価上昇率がゼロ以上となるまでの金融の量的緩和を決定しているが、経済財政白書は効果に保証なしと分析している。

現況下でのインフレターゲットの妥当性についてどう考えるか。

竹中 経済財政担当大臣 デフレスパイラルを回避し、デフレ期待を払拭する観点から、国際的議論も踏まえ、インフレターゲットの議論を深めていくことが必要。

◆重要政策は「教育・教育・教育」！

辻 泰弘 ブレア首相は、三つの重要な政策として、教育・教育・教育と訴えた。

米百俵を語る総理から教育についての信念を、文部科学大臣から少人数学級実現の方針を伺いたい。

また、親のリストラ・失業に伴う、子供の退学、進学断念の増加に政府はどう対処するのか。平成 11 年度創設の緊急採用奨学金制度にとどまらず、有利子奨学金の対象に高校生を加えるとともに、随時採用を取り入れるべきだ。

小泉 総理大臣 米百俵の精神は、今の痛みに我慢しても、明日をもっと良くしようという精神が大事だと説くとともに、教育の重要性を示唆したものだ。

明るい未来を切り開く担い手は人である。教育改革の推進は、国政の最重要課題。人材育成、教育には重点配分する。

育英奨学金の充実、教科に応じた少人数授業の推進など、教育の充実に努める。

遠山 文部科学大臣 算数、理科などの教科に応じて、20 人程度の少人数指導が行えるようにすることが必要。

少人数指導の成果としては、児童生徒の学習意欲の向上、基礎・基本の確実な定着、教員間の連携協力体制の強化などが報告されている。改善計画を着実に推進する。

高校生には無利子奨学金で対応。希望者には十分応じられる状況にある。

また、高校奨学金は、閣議決定により都道府県に移管する方向だ。

◆総理の言葉にインフレあり！

辻 泰弘 小泉総理の言葉には、160%「言葉のインフレ」がある、との指摘がある。「言葉のインフレターゲット」は設定しているのか。

小泉 総理大臣 政治家の言葉は重いものである。私の言葉にインフレがあるという指摘は当たらない。

◆小泉改革は普遍的価値を有するか

辻 泰弘 小泉総理が視察したニュージーランドでは、民間のポストは使われていない。郵政民営化が経済改革との総理の信念は強まったか。

小泉 総理大臣 ニュージーランドには、ニュージーランドの事情がある。

郵政事業改革には各国とも取り組んでおり、改革の意欲を一層強くした。

辻 泰弘 平成 12 年までの抜本改革を約束した厚生大臣として、医療制度改革に政治家としての責任を賭けるべきだ。

小泉 総理大臣 給付率の7割への統一、診療報酬の引き下げなど、思い切った改革を行うこととした。

高齢者医療制度の見直しなどについて、平成 14 年度中に基本方針を策定し、不退転の決意で改革を進めていく。

◆決算の早期国会提出を！

辻 泰弘 財政法 40 条を改正し、決算が常会を待たずに、速やかに国会に提出されるようにすべきだ。

塩川 財務大臣 決算を常会より前に提出することは、現行財政法でも可能だ。

今後とも、早期提出に努力したい。

◆当面する重要政策課題を問う！

辻 泰弘

- ①益税解消など現行消費税の改革
- ②介護保険制度の見直し
- ③次期再計算での年金改革の基本理念
- ④基礎年金国庫負担1 / 2 への引き上げ
- ⑤労働債権が租税債権より低位に設定されている現行法体系の見直し
- ⑥鉄鋼セーフガードに対する最終決断
- ⑦京都議定書発効への努力
- ⑧空洞化対策と物づくり基盤の強化
- ⑨地方への財源移譲と補助金の統合化
- ⑩東京都の外形標準課税に対する見解
- ⑪郵政法案の与党との協議と見直し

小泉 総理大臣

経済財政諮問会議、政府税調で議論。

6月を目途に基本方針を示す。

サービスの基盤整備、質の向上に取り組み、制度の一層の定着をはかる。

少子化対策を講じつつ、持続可能な安心できる制度の再構築に努める。

安定した財源確保の具体的方策と一体として検討する。

破産法の見直し作業の中で検討したい。

米側と協議し、国際ルールに従って適切に対処する。

国内法の整備と併せ、早期発効に向け各国に働きかける。

物づくり基盤の強化を含め、製造業の国際競争力の強化に積極的に取り組む。

地方行財政の効率化を前提に見直す。

包括的な外形標準課税の議論の中で解決をはかる。

与党の了承を得ずに国会提出したが、4法案が成立するよう審議を願いたい。

◆総理の靖国神社参拝は私人の立場！

辻 泰弘

昨年8月、靖国神社を参拝した総理と国を被告とする訴訟において、国は、総理の参拝を私人の立場での参拝と位置づけている。公私の区別は意地でも言わないと言ったが、総理は、自らの参拝を私的参拝と認識しているのか。4月11日訪中の際、総理は「中国は未来志向だ。靖国参拝なんて大した問題じゃない」と述べたが、どういう意味か。

昨年11月、総理は、靖国問題を巡って提訴した人々に、「話にならんね。世の中おかしい人たちがいるもんだ。もう話にならんよ。」と強い不快感を示したが、今もそう思っているのか。

昨年の発言そのものについて、現時点でどう評価するか。

昨年8月と本年4月の総理の靖国参拝が公式参拝か私的参拝か、福田官房長官より、政府の見解を伺いたい。

小泉 総理大臣

私の靖国参拝は、内閣総理大臣である小泉純一郎が心を込めて参拝したものだ。

幅広く将来に向けての協力関係を探ることが最も重要と考えた。

具体的な争点については、訴訟手続の中で適切かつ誠実に対応していきたい。

福田 内閣官房長官 総理の靖国神社参拝は、いずれも私人としての立場での参拝と理解している。

◆官房機密費の実態を明らかに！

辻 泰弘

平成4年、当時の自民党副幹事長の小泉総理に官房機密費から50万円が送られたとの報道は事実か。国会議員の秘書逮捕、補選などの結果、政治への信頼回復に対する見解を問う。新たに策定された官房機密費の取扱要領を示して欲しい。塩川大臣は昨年、官房機密費について、具体的に証言していたにもかかわらず、後で週刊誌の内容と錯覚した、と釈明した。この経緯を説明して欲しい。

小泉 総理大臣

そのようなものをもらったことはない。なぜそのような記載があったのか、理解に苦しんでいる。国民の政治への信頼を揺るがす残念なことで、深刻に受けとめている。補選の結果は国民の厳しい声を反映している。政治への信頼回復のため、法整備も含め、検討に着手している。

福田 内閣官房長官 先に、事務補助者の複数化、内部確認の実施などを内容とする官房機密費の基本方針を策定した。同方針の提出も検討していきたい。

塩川 財務大臣 説明の中で、経験と実際とを混同したことは反省している。

戦後2番目の企業倒産、最悪の失業率、それらに裏打ちされた内閣支持率の低下。総理の「類い稀なるリーダーシップ」と「抜群の協調性」に思いを致す時、ライオンが沈みゆく夕陽に向かって空しく咆吼するがごとく、今や小泉内閣に物悲しき黄昏時が迫り来るを予感しない訳には参りません。

本年3月、総理は「内閣支持率が下がると株価が上がるんだったら、もっと支持率が下がってもいいね」とおっしゃいました。さすがは総理。一国の宰相たるものの心掛け、かくあるべし、と心から感服した次第でございます。

どうか、小泉総理におかれましては、ますますご壮健にて、これからも内閣支持率の低下にご尽力下さり、もって株価の上昇、ひいては景気の回復と国民生活の安定・向上にご専心下さいますよう、心よりお願い申し上げます、私の質問を終わらせて頂きます。

ご意見・ご要望等ございましたら、下記までお気軽にご連絡ください。

< 兵庫県事務所 > TEL078-230-8824 / FAX078-230-8825

< 東京事務所 > TEL03-3508-8402 / FAX 03-5512-2402